

取扱説明書

ジムニーJB64 JB74用 Aピラー
アシストグリップ

製品ID

8332(グレー)
8333(ブラック)



■特長

ジムニーJB64、JB74用アシストグリップです。
乗り降りの際、補助的なグリップとして有効的なアイテムです。
リフトアップ車、RECARO等のバケット仕様車などにおススメの製品です。
スズキ純正車で使用されているグリップと同じ製品がセットのため、ジムニーのスタイリングに違和感なく
取り付けが可能です。
部品はすべて国内生産品を使用しています。
運転席、助手席側共通設計です。

■アシスタントグリップカラー

製品ID	カラー
8332	グレー
8333	ブラック

■取り付けについて

取付の際、以下にご注意ください。また車体への穴あけ加工を伴う製品となります。電動ドリルを使用して
正確な位置に穴あけを施す工程があります。取り付けに関して不安なお客様は事前にプロショップに取り
付け依頼の確認をされることをおススメいたします。

■備考

本製品はあくまでも後付けです。ぶら下がってクルマを揺るような行為は避けてください。

■生産国

日本製

■セット内容

アシスタントグリップ 1ヶ
亜鉛ダイカストターンナット(高トルク品) M6 2ヶ
ナベネジ(全ネジ) M6×60mm 2ヶ
両面シールφ25.0mm 2ヶ 2ヶ
スペーサーφ25.0mm×φ6.1mm×L10mm 1ヶ
スペーサーφ25.0mm×φ6.1mm×L15mm 1ヶ
JB64、JB74用Aピラー型紙 1ヶ

■作業の際必要な特殊工具

プラスドライバー
室内トリム剥がし
養生一式
電動ドリル
ドリル刃φ3.0mm(ポンチ用)
ドリル刃φ7.0mm(アシストグリップ穴空け用)
ドリル刃φ12.5mm(ターンナット穴空け用)
バリ取り用工具
マーキングペン

■作業前の注意事項

作業にはドリルの穴あけ加工が必要となります。特に12.5mmの穴あけ加工には技術が必要となります。ま
た正確な穴あけ位置を決定する必要があります。説明内容を一読いただき、作業が困難なお客様はプロ
ショップにて作業をご依頼いただくことをお薦めいたします。

■取り付け手順	
室内トリムの取り外し	 <p>Aピラー室内トリムの取り外しの際、上側を内装外しでめくる必要があります。Aピラー室内トリムには爪があるため、上側に引き抜きますが、天井に当たると傷がつきますので、天井に当てないよう、ご注意ください。</p> <p>Aピラー室内トリム上側へ内装剥がしを差し込み手前に内装剥がしで押し出すようにしてください。クリップニカ所が外れますので、次にAピラーを上引っ張ると外れます。</p> <p>赤丸部分の純正ワイヤークリップ(白樹脂部品)を外します。外した長穴が上側のアシストグリップボルト取り付け穴となります。</p>
防音材を剥がす	 <p>外したAピラー室内トリムの裏面に貼り付けされている防音材を剥します。配線を固定している白色のクリップ(上側の一か所)を外します。</p> <p>※天井は柔らかいウレタン製のため、Aピラーを力いっぱい引き上げると、天井に当たり、凹んでしまいますので、タオルで保護するなど注意して作業してください。手前に引きつつ上に引くようにしてください。</p>
型紙を天井内装のラインに揃える	 <p>型紙を点線部分でカットしてください。運転席側が型紙の表側(文字が入っている)です。助手席側が裏面(文字が入っていない面)です。</p> <p>天井内装とAピラー室内トリムを外した際のラインに型紙(上)のラインを揃えてください。</p> <p>また型紙(前)の面とフロントガラスと接するようにしてください。</p>
穴あけ位置のマーキング(下側穴)	 <p>型紙の●マークニカ所がアシストグリップの穴あけ位置です。この位置で下側の穴の芯を決定し、Aピラー穴あけの中心位置にマーキングします。上側は車体側に穴あけされている丸穴を使用します。</p> <p>マーキングを行った後、型紙を外し、アシストグリップを車体に当てて、正しい位置にマーキングがされているか、確認してください。</p> <p>※型紙は取説上の写真ではカラー紙としています。</p>
ドリルで穴あけ	 <p>上側は楕円形の穴(配線クリップ白の穴)を使用します。ポンチマーキングができないため、通常のドリルで穴あけを行うと、穴が綺麗に空きません。そのため、バリ取り用の工具で手動で穴あけを行うことをお奨めします。もしくは技術のあるショップさんに穴あけを依頼してください。</p> <p>下側はφ3mmドリルで下穴を空け、φ12.5mmのドリル穴を空けます。ドリルの穴あけ後、ターンナット(高トルク品) M6を写真のように穴あけした2箇所に取り付けます。スペーサー L10mmは上の穴、スペーサー L15mmは下の穴に付属の両面シールで真ん中のM6穴に合わせて、貼り付けます。</p>
両面シールでスペーサー貼り付け	 <p>※穴あけの際、外側鉄板までドリルが届かないよう、十分に注意してください。</p> <p>※ドリルの穴あけ作業は金属切子が飛び散ります。切子が飛び散った場合に周囲を保護するよう、ウエスや新聞紙で養生をしてから作業を行ってください。ガラスは高温の金属切子が飛び散った際に溶けてしまうことがあります。養生はガラスも行ってください。</p>
Aピラー室内トリムに穴を空ける	 <p>ピラー型紙を使用し、室内トリムにアシストグリップのネジ穴φ7mm穴を空けるため、室内トリムの表面側に型紙の上下、左右のセンターを合わせます。</p> <p>この時、位置が穴位置がずれると、車体に室内トリムを取り付けした際、穴がズレてしまうことになります。</p> <p>穴位置がずれないように、慎重に穴位置を決めてください。</p>

<p>室内トリムに穴を空ける</p>		<p>室内トリムにドリルでアシストグリップのネジ穴φ7mm穴を2か所空けます。穴位置がずれないように、慎重に作業を行ってください。</p>
<p>室内トリムを車体に取り付ける (復旧)</p>		<p>車体に穴空け加工を施した室内トリムを外した際の手順とは逆の手順で取り付けてください。 ※その際、クリップが落ちないように、クリップは室内トリムの溝にしっかり嵌め込んでおきます。また両面シールを貼り付けしたスペーサーが落下しないよう、再度、スペーサーを社外に押し付けてから室内トリムを取り付けてください。</p>
<p>アシストグリップの取り付け</p>		<p>アシストグリップの上下ネジ穴にナベネジ(全ネジ) M6×60mmを使用して、アシストグリップを取り付けます。 ※ネジ締めによることで、室内トリムが撓むことで、室内トリムと天井の合わせ目に、室内トリムの浮きが発生しますが、構造上、若干の浮き上がりが発生します。</p>
<p> 注意事項</p>	<p>アシストグリップは後付け部品のため、大きな荷重を掛けると、壊れる可能性があります。ターンナットは高負荷タイプを付属品としていますが、ぶら下がるなどの行為は危険ですので、お控えください。</p>	
<p>発売元</p>	<p>〒391-0013 長野県茅野市宮川7495 TEL 0266-75-5770/FAX 0266-75-5440 MINIMOTO Jimunyパーツ販売</p>	